

ミッションの探究学習

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院は、1885(明治18)年に創立しました。幼稚園から大学に継続する総合学園として、時代の変化に柔軟に対応する一方、キリスト教という普遍的な真理を掲げどこに、一人ひとりが自らの個性に気づき、自身の使命を実現できる進路へと導く教育を追求しています。

本号では、現在推し進めている「探究学習」について、中高の担当者である岡崎裕一中学校教頭にお話いただきます。



北陸学院中学校・高等学校 中学校教頭

おか ぎき ゆう いち

岡崎 裕一

Yuichi Okazaki

1985年生まれ、富山県出身、金沢大学教育学部情報教育専攻卒業。2008年から北陸学院高等学校で教鞭を執り、理科主任や学級担任などを担当。その間、石川県高等学校物理実験書検討委員なども務める。2016年に中学校に異動、教頭職にあたりながら、引き続き中学校理科や高等学校物理を教える。現在、理科部や卓球部(ともに中高合同)の顧問。



夏休みから準備してきた成果を、3分間の発表で披露します。

思考力・判断力・表現力を養う

高校では「サイエンスQuest」というタイトルで、1年生を対象とした「科学道100冊」のビブリオバトル(自分が読んだ本の書評の競い合い)を行っています。

生徒は、夏休み前に「科学道100冊」から興味を持ってそうな本を1冊ずつ選び、それを読んで「オススメ本紹介カード」に記入する夏休みの課題に取り組みました。このカードには、「選んだきっかけ」や「驚いたこと」などを書き込む欄があり、それをまとめることで科学への理解を深めるとともに自分自身を見つめ直します。また、カードは後日図書館に貼り出されるため、生徒は言葉遣いや見映えなども工夫しながら制作しています。

ビブリオバトルの本番は、図書館を会場に

一人3分(書評2分 質疑応答1分)の持ち時間で開催し、自分の本がいかに面白いか、どんな素晴らしい発見があったかなどをアピールします。また、発表の評価も生徒自身が行い、級友のプレゼンを聞いて「選んだ理由が論理的に説明できたか」「聴衆に対する視線」「声の大きさ」などの項目ごとに点数をつけます。この評価は成績にそのまま反映されるので、生徒は評価する責任の重さを感じながら発表に耳を傾けるのです。

このようなプロセスによって論理的に考える力や情報を収集する力、さらに表現力・発信力が向上すると同時に、評価という経験を通して判断力なども育まれます。ある生徒の場合、「星の使者 ガリレオ・ガリレイ」(徳間書店)を選んだことで科学者の生き方や地動説・天動説への理解を深めるとともに、キリスト教と科学の関係という、より高次な問題にも思いを寄せるようになりました。

また、大勢の前での発表体験が生徒の自信につながっているようですし、教員にとっても、普段の学校生活では窺い知れない生徒の内面を知ることができ、それを指導に役立てられるという利点があります。

一人ひとりの個性を輝かす

中学校は1学年1学級で新しい試みを取り入れやすいことから、高校より早い時期からビブリオバトルを行ってきました。「科学道100冊」を使ったこうした取り組みは全国に先駆けたものだったので、探究型読書の支援ツール「クエストリーディングノート」が制作される際、本校はモニター校に選ばれて開発に協力しています。

昨年はコロナ禍で予定通りには実施できませんでしたが、例年は1学期に上級生が

行うビブリオバトルを1年生が見学し、2学期には1年生自身もビブリオバトルを体験します。本を借りてから1週間後に発表するという短期間のものですが、今まで知らなかった世界を知って興味を新たにする生徒や、自分が好きなものをさらに広げて成長していく生徒などもあります。

ビブリオバトル以外にも、一人ひとりの探究活動への支援を行っています。ある理科好きの生徒の場合、授業で知ったプラシクトンにとっても興味を示したこと、理科教員を中心に彼の学びを深めるプロジェクトが立ち上がり、プラシクトンの専門家である高校の生物の教員に力を借りるなど、継続教育の強みも活かしつつ生徒の研究を支えた結果、「高峰賞」に挑戦できるレベルにまで研究を高めることができました。

将来につながる指導を目指す

探究学習はまだ入り口の段階にあります。課題を見つけてテーマを設定すること自体がとても難しく、生徒にすべてを委ねてしまうと浅い学びにとどまらねません。そこで、身のまわりのものにしっかり問題意識を向けられるように、またそれを掘り下げて論理的に考えられるように、授業の準備などにも試行錯誤を重ねています。

社会への視野を広げ、自身に対する理解を深める探究学習は、生徒の進路やその先の社会で果たすべき使命を考える際の指針にもなり得るものです。今後は他教科との連携や進路指導との関連付けも図りながら、より良い学習を目指したいと思っています。

※北陸が生んだ科学者 高峰譲吉にちなんで設立された理科・数学に興味関心が強く、かつ優秀で研究意欲に富む中学生に贈られる賞。

「知りたい」を見つけて
未来をひらく力を育む。

自分自身を知るために学ぶ

今回は、中高両校で進めている探究学習について紹介します。探究学習とは、一斉授業で知識を得る従来型の学習法とは違い、自分が興味を持てるものを生徒自らが見つけ、それを自分で掘り下げて学ぶ中で課題を解決する力を養う学習のことです。

予測困難な時代を迎え、社会は問題を主体的に解決できる力を必要としています。来年度の学習指導要領の改定においても探究学習が重点項目となっており、高校では既に19年度から「総合的な学習の時間」を「総合的な探究の時間」に名称変更しています。本校が探究学習に取り組んだきっかけは、3年前に「科学道100冊」という書籍シリーズの寄贈を受けたことでした。これは、将来社会を支える子どもたちに、良書を通じて科学者の生き方や考え、科学の面白さを伝えようというプロジェクトで、理化学研究所が推進し、思考学から哲学まで、幅広い分野の科学書が選ばれています。

当時高校で理科を教えていた私は、探究学習の一環として、この「科学道100冊」を指導に活かしたいと思いました。生徒の中にはまだ自己理解が浅いため、何が自分の興味を惹くものであるか分からない生徒も多く、読書を通じて著者と「対話」し、同時に自分の内面とも「対話」する行為が、生徒の成長の手助けになるに違いないと考えたからで

修学旅行の事前学習

北陸学院中学校・高等学校では、修学旅行の事前学習の時間を設け、グループワークやプリント学習を通して行き先の地域について学びます。この事前学習は探究学習の一環でもあり、課題解決に向けてまずは「知る」というプロセスを大切にしています。



高校 【台湾】台湾に関するクイズを通して、歴史や現在の様子について理解を深めます。

※新型コロナウイルスの影響で2021年度は訪問先変更。



中学 【沖縄】チームごとに沖縄の環境に関する課題を設定。現地調査に向けて準備を進めます。

※新型コロナウイルスの影響で2021年度は訪問先変更。

OPEN SCHOOL 学校・入試説明会

本校の教育の特色や学校生活、
入試等についてお話しする説明会を
開催しますので、ぜひご参加ください

北陸学院高等学校

▶学校・入試説明会

- 第1回 | 11月13日(土) 申込締切 11月 5日(金)
第2回 | 11月20日(土) 申込締切 11月12日(金)
第3回 | 12月 4日(土) 申込締切 11月26日(金)

●時間
9:30~11:30 (9:00受付開始)

●対象 中学3年生とその保護者 ●申し込み方法
本校ホームページからお申し込みください。



Message

パイプオルガンの音色が鳴り響くチャペル、「勉強プラスもうひとつ」を
実践する先輩たちの姿、教員が抱く、生徒たちへの願い。
これらを映し出し、北陸学院をより近く、深く、
感じてもらえる動画を制作しました。
ぜひ、本校に流れる時間をご体感ください。



北陸学院
紹介ムービー

Webで公開中!



Mission Movie

国際理解教育が さらにパワーアップ!

1885年に宣教師メリー・K・ヘッセルが北陸学院を創立して以来、本校は国際理解教育に力を入れてきました。

2021年度からは、希望者向けの研修・留学制度をさらに充実させます。

柔らかい感性を持つ10代に多文化に触れることは、自由に使える語学力とともに、世界に対する「開かれた心」を育みます。

新型コロナウイルスの影響により、2021年度の研修(短期)・ターム留学(3か月)・留学(長期)は中止とします。

POINT① ホームステイで実際の暮らしに触れる

POINT② アメリカやカナダの歴史を直に体感

POINT③ 現地校生徒との交流を通して、英語力を磨く

POINT④ 現地コーディネーターとの連携で安心



	短期海外研修制度	ターム留学制度	長期留学制度
中学校	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1~3年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1~2年生 ●期間 12月下旬~3月(約3か月)	
高等学校	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 1~2年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (オレゴン) ●対象 1~2年生 ●期間 1月~3月(約3か月)	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 2年生のみ ●期間 約1年間

Pick up //

中学校修学旅行が
シンガポール・
マレーシアに!



感性が鋭い中学生のうちに、生徒全員が異文化を体験できるプログラムを設けました。生徒全員が「世界の中にいる自分」を実体験できます。(2020年度入学生から実施)

確かな結果へとつなげる

大学への「進学力」

本校の進路指導は、生徒の志望や個性を尊重しながら実現へと導くことが特長です。
入学時より実践的な講習会を開催するなど、早い段階から卒業後の姿を意識させ、進路に向かって
どんな学習が必要なのかを具体的にしていきます。きめ細やかな指導により、現役の4年制大学進学率が
例年約70%と、一人ひとりが志望する進路へ歩みを進めています。

北陸学院高等学校卒業生の主な合格実績 (2017年度~2020年度卒業生)

関西地区

奈良女子大学
同志社大学
関西学院大学
京都ノートルダム女子大学
神戸学院大学
桃山学院大学
大阪青山大学
立命館大学
近畿大学

北陸地区

北陸学院大学
金沢大学
金沢美術工芸大学
富山大学
石川県立大学
石川県立看護大学
公立小松大学
金沢医科大学
金沢工業大学
金沢医療センター附属金沢看護学校

留学

Sprott Shaw Language
College(カナダ)
延世大学校(韓国)

北海道地区

北海道大学

関東地区

筑波大学
明治学院大学
青山学院大学
関東学院大学
国際基督教大学
聖心女子大学
東京女子大学
東洋英和女学院大学
フェリス学院大学
立教大学
大妻女子大学
昭和音楽大学
國學院大学
白百合女子大学

東北地区

東北学院大学
奥羽大学

東海地区

金城学院大学
愛知東邦大学
中京大学
中部大学
東海大学

同志社大学

関西学院大学

明治学院大学

特別推薦枠で
憧れの難関私立大学へ!



本校は同志社大学に16名、関西学院大学に23名、明治学院大学に6名の特別推薦枠を有しています。実際、2021年度入試結果においても、同志社大学に11名、関西学院大学に12名、明治学院大学に5名の合格者を輩出。県内でこれらの大学に最も近い学校といえます。他にも全国におよそ140大学・約700名の指定校推薦枠を有しています。

※募集枠は毎年変更があります。詳しい指定校一覧はHPよりご確認ください。

高 校

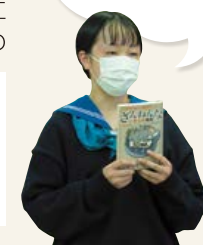
サイエンスQuest!の様子をご紹介します!

「サイエンスQuest!」で使用する「科学道100冊」には科学だけでなく、哲学について書かれたものから絵本までさまざまな種類があります。生徒は自ら興味を持った1冊を選び、読み込んで発表に臨みます。当日は発表原稿や発表の仕方にそれぞれの工夫が見られました。また質疑応答では、本の内容について積極的に質問があり、相互に学びの深まる時間となりました。

発表の様子は本校ホームページでも紹介しております。



「ざんねんないきもの事典
-おもしろい! 進化のふしぎ-」
(高橋書店)を読んで、
シマリスのしっぽが
取れやすいことに驚きました!



月刊北國アクトス2021年11月号掲載記事

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう

北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学 / TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校 / TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398

